

競技・運営上の確認事項

- 1 本大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、別に示されるガイドラインに沿って運営される。
- 2 競技は、2021年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 3 入館時刻は各チームの試合設定時刻の1時間前とする。ただし、第2試合のチームは9：00とする。
- 4 入館時に測定した体温を健康観察表（A票）に記入し、受付に提出すること。
- 5 会場内ではマスクを着用すること。フロアでの練習中はマスクを外してもよいが、試合中はスタッフ・控え選手ともにマスクを着用すること。
- 6 ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし、プロトコール前は、当該校の中学生の入場も認める。
- 7 監督、コーチ、マネージャーマークは左胸部につけ、監督、コーチは統一された服装でベンチに入ること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。また、身体へのマジック等での書き込みは禁止する。
- 8 コートチェンジは行わない。組み合わせ番号の数字が小さい方のチームが、記録席から見て左側のコートとする。プロトコール前の練習は指定されたベンチやコートを使用すること。
- 9 試合前のチームは、コート系の許可が出てから自由にコートやネットを使って練習できる。（第1試合のチームは8：45以降）ただし、他のコートが試合中の場合はパス程度の練習とする。プロトコール4分前からはコートチェックを行うため、練習をやめてコートから出ること。
- 10 試合開始の予定時刻を定めているが、第2試合以降は予定した時刻より遅れることがあっても早く開始されることはない。プロトコールはプログラム記載時刻の11分前とする。各試合とも最長45分間、最短30分間の合同練習時間を確保する。
- 11 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 12 試合開始、終了時の握手は行わず、エンドライン上でのあいさつのみとする。
- 13 ウォームアップエリアの使用は必要な選手のみとし、控え選手はベンチに着席すること。また、意図的な応援は行わないこと。
- 14 2日間ともスコアラー、アシスタントスコアラーは宮古地区の生徒が行う。ラインジャッジ（4名）、点示係（1～2名）は以下の割当てで参加チームが行う。
1日目 第1試合は第2試合のチーム、第2試合は第1試合の敗者チーム、第3試合は第2試合の勝者チーム、第4試合は第3試合の敗者チームとする。
2日目 第1試合は第2試合のチーム、第2試合以降は前の試合の敗者チームとする。
なお、ラインジャッジのフラッグは各チームで可能な限り持参すること。

審判上の確認事項

- 1 本大会は、2021年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 各セットの開始時、スターティングラインアップの確認終了後は、試合開始の準備をする。
（コート内で円陣を組む場合は、スターティングラインアップの確認前に速やかに行うこと。）
- 3 リベロとの交代については、サイドライン上でいったん立ち止まってから交代すること。
- 4 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。
コート内の選手で対処しきれない場合に備えて、クイックモッパ（2名以内）を待機させることができる。
クイックモッパは、控え選手または選手以外の部員から選出する。
 - ① 控え選手の場合は、ベンチに待機して責務を果たす。
 - ② 選手以外の部員の場合は、1人は記録席脇、もう1人はベンチとウォームアップエリアの中間で待機して責務を果たす。また、服装は選手と区別し、ボール拾い等、チームのサポートは一切行うことはできない。
- 5 ゲームキャプテンは、審判に対し判定について質問する権利を有するが、抗議をすることはできない。また、他の競技参加者は質問する権利を有していない。
- 6 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。
相手チームに向かってのガッツポーズやラインジャッジの判定に対する抗議等は「軽度の不法な行為」として扱い、制裁の対象となる。
「軽度の不法な行為」は、ステージ1（口頭警告）→ステージ2（イエローカードによる警告）のとおり、段階的に警告が与えられる。
- 7 今大会は、選手交代（サブスティチューション）にナンバーカードを使用しない。
- 8 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。
下記①～③の行為は、遅延制裁の対象となる。
 - ① 正規の試合中断（タイムアウト・選手交代）の要求後の取り消し
 - ② タイムアウト終了後、コートへの戻りが遅い等、試合再開を遅らせる行為
 - ③ ラリー終了後、サービス許可までの時間を超える長時間の靴紐の結び直し等、ラリー再開を遅らせる行為
- 9 各コートには、ウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 10 セット間は、試合中のチームのみフリーゾーンでのボール使用を認める。ただし、隣接コートの試合の妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 11 タイムアウトの要求は、オフィシャルハンドシグナルを明確に示すこと。